



医動物・種類同定検査結果（令和7年7月～10月）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

令和7年7月から10月の4か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類1件（ハチ目）、その他の節足動物1件（ワラジムシ目）でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等 〈相談月〉	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
校庭の砂場付近にハチが飛び回っている。 〈7月〉	 成虫、黒色、腹部に黄白色の斑紋あり、約23mm	ニッポンハナダカバチ (ハチ目)	砂地に穴を掘って営巣する。幼虫の餌はアブ類、ニクバエ類、キンバエ類、ハナアブ類などのハエ目の成虫である。餌は随時補給する。絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に指定されている。
マンション1階の駐輪場に虫が多数出る。 〈10月〉	 成虫、灰色、約20mm	フナムシ (ワラジムシ目)	海岸の岩盤や突堤など硬い基質の場所や陸に揚げられた船、波消しブロックなどに多くみられる。若い個体は汀線付近に多いが、老成個体は飛沫帯から海岸林にも多い。

【 微生物検査研究課 医動物担当 】